

# Zeppan

## BIKES

今ならまだ手に入る!!



冒険特集「絶版車を買おう」

**KZ1000Mk-II  
が欲しい!!**

Zeppan Before 60s

TOHATSU Runpet 50  
CA1B 1962

巻頭特集

Remember Zeppan BIKES

# カワサキトリプルの

# 愁煙

~加・速・魂~

Zeppan BARGAIN

50万円で買える☆リッター絶版車

Kawasaki GPz1000RX/  
SUZUKI GSX-R1100/  
YAMAHA FZR1000



巻末特集「いま買える全国の  
絶版バイク情報!

■クラブミーティング2013秋/絶版☆原2ツリング/絶版車とメンテナンス工具

バイクプロスWEBはこちら

[バイクプロス](#)

検索

ホチヤ



# ノーマルからカスタムまで色とりどり 揺るぎないヨンフォア人気を実感



**同** 類の友、同じ趣味を持つ仲間が集うイベントは、実に楽しいものである。

74年に発売されたホンダCB400F OURは、70年代初頭のヨーロッパで巻き起こりつつあったジャパン・ブーム・カフェレーサー・カスタムのメーカー版コンプリートモデルとして知られている。生まれながらにして「コンチ・集合・バックステップ」の三種の神器を備え、国内シーンほもちろん欧米各国でも大評判となり、特にヨーロッパのコンストラクターは、本格的なカスタマイズパーツを開発販売した。現在では、そんな70年代当時に開発販売されたキャストホイールやバックステップなどが大人気のお宝パーツとなっている。

国内シーンでは、免許制度の狭間に登場したこともあり、初代モデルは408ccに対して発売1年後には国内専用として398ccモデルを追加。その後、オイルシヨックの腐りで短命モデルとなってしまうが、そのデザインインパクトは計り知れず、現在でも熱烈なファンが数多い人気絶版車の一台である。

「西日本ヨンフォアミーティング」と題して開催されたこのイベントは、徳島県徳島市にシヨップを構えるBRCの呼びかけで実現した。関東のシヨップによる呼びかけで定例化しているヨンフォアイベントを「西日本でも開催して欲しい!!」との要望が大きくなり、今回は淡路島の国営明石海峡公園駐車場で開催された。大阪市内か

らでも2時間弱で到着できる風光明媚で素晴らしいロケーションだ。

出店は主催のBRC、大阪のアゲイン、カスタムパラノイア、フォアワン、神奈川からは元祖ヨンフォアミーティングでお馴染みのスキヤンが参加。絶版車と未永く付き合っていくには欠かせないのが工具だが、今回は徳島でバンセリングを展開するスナップオン西谷も出店。当日は早朝からの豪雨で大変な開催になると思われたが、オープニング直前には雨雲が切れ、あれよあれよと快晴になり、最高のイベントが催された。

「憧れは永遠です」と語る絶版車ファンが数多いが、今後も全国各地で絶版車系ミーティングが開催されることを折って止まない。今後の発展にも注目していきたいミーティングである。



## 2013西日本ヨンフォア ミーティング

◎9月8日◎淡路島国営明石海峡公園

関東や中部圏では定期的に開催されてきたホンダCB400FOURファンが集うワンメイクミーティング。

「関西方面に住むファンのみなさんからのご要望もあって」と開催になったのが、西日本ヨンフォアミーティングだ。雨にも負けず熱きフリークが淡路島の会場を目指した。

取材協力ビーアールシー <http://www.brcinc.co.jp/>

定期モデルの登場から来年で40周年になるホンダCB400FOUR。免許制度の変更にもともない大きな物議を醸した象徴的なモデルでもあった。当日は美しく磨きこまれたヨンフォアが数多く来場。





今回のイベント幹事はBRC。徳島県徳島市でミドル系モデルを中心に純正パーツやスペシャルパーツ、リプレイスパーツの通信販売を積極的に展開。代表の渡辺さんもミドル系スペシャルバイクを所有する。



大阪にショップを構えるカスタムパラノイアはCB400FOURを積極的に取り扱うヨンフォア専門店。レストア作業に必要な機器も揃え、ユーザーからの要望に対し、ハイレベルな答えをだすショップとしても知られている。部品の通販にも積極的だ。



アゲイン代表の松永さんは、CB400FOURで長年サンデーレースにエントリーし続けている人物。自分が欲しいスペシャルパーツを開発&市販化する。チューンドフォアに乾式クラッチは素晴らしい相性がある。

## Zeppan Club Meeting & Event Report



同じ趣味を持つ仲間同士は結束力が極めて高い。だからこそ、このようなワンメイクミーティングが回を重ねて大きな盛り上がりとなるのだ。



数多くのショップや部品メーカーが出店するバイクイベントで欠かせないのがジャンケン大会でのパーツ争奪戦。ゲットした部品をバイクに縛り付けている様子もチラホラと。



バイク趣味とは関係ない部分で興味深いアトラクションが「アクションライディング」だ。今回のイベントでも特設ステージにて、トライアル車の飛んだり跳ねたりが好評だった。



大阪のフォアワンは、70年代当時に流行ったヨンフォア・カスタムの再現を得意としている。赤フレームのカフェレーサースタイルは当時数多くのファンが憧れたが、なかなか実現できなかった。



神奈川県横浜市にショップを構えるスキャンもエントリー。車両販売はもちろん、修理からフルレストアまで引き受けるヨンフォア専門店。カフェレーサーカスタムが注目されていた。

イベントで欠かせないのがケータリングサービスだ。今回のヨンフォアミーティングでも明石の近所ということで「たこ焼」屋さんが出店。いい感じでクルクルしてました。

